

国立大学附属病院遠隔医療会議およびアジア太平洋ネットワークシンポジウムに参加しました。

2014年12月11日に九州大学病院において国立病院遠隔医療会議が、つづく12日、13日にアジア太平洋ネットワークシンポジウムが実施されました。筑波大学附属病院からは国際連携推進室の秋山室長とザボロノク医師、総合臨床教育センターの讃岐氏が参加しました。

国立病院遠隔医療会議では積極的に遠隔医療を実施していることから実施内容、技術的内容について、またアジア太平洋ネットワークシンポジウムでは讃岐氏がテクニカルアップデートセッションで「Freeswitch を利用したテレカンファレンスのさらなる展開」について発表しました。

今後国際化を推進する中で、海外施設との交流も盛んになり、また海外からの患者さんを受け入れるインバウンド事業においても適応やフォローアップ等に関して、ネットワークを利用した遠隔会議や情報交換は大変有用な方法になると思われます。今後とも院内の皆様のご協力の下活動推進をしてまいりたいと思います。



発表する国際連携推進室の秋山室長



発表する総合臨床教育センターの讃岐氏